

大学入試センター試験と出願大学選択： 「センターリサーチ」データによる定量分析

島根 哲哉*

2018年1月29日

1 はじめに

本稿では、大学への進学を希望する受験生の出願先選択が、大学入試センター試験（以後、センター試験）の結果や合格の可能性の評価を踏まえたものとして、説明することを試みる。

大学教育の成果については、受験生こそが高い関心をもち評価した結果、入学する大学を選ぶと考えられる。しかし、商品や移動先の選択のように彼らの選択行動から、選んだ大学に入学することにより期待される効用を離散選択モデルで計測することは難しい。それは、大学は入学者の選抜をしており、最も高い効用をもたらすと判断した大学に出願をしても必ずしも入学を実現することができないからである。そこで、本稿では受験生が直面するそれぞれの大学への合格の可能性を踏まえて、彼らの出願先の選択を分析することで、受験生の視点から見た大学の評価を試みたい。

* 東京工業大学 工学院 shimane.t.aa@m.titech.ac.jp